どんぐり保育園

園だより



2026.11月号

Eメール　donguri_mori@cup.ocn.ne.jp
ホームページ　http://minnanomori.jp

運動会ありがとうございました！　温かいご声援が子どもたちにたくさん届いていました！



先月はどんぐり保育園の運動会にご参加いただきありがとうございました。当日までは雨の日が多く、総練習も思うように行えない中でしたが、当日は天候にも恵まれ無事に開催がすることができました。

保護者のみなさんからもクラスに続々と感想が寄せられています。昨年から今年の我が子の成長や変化、クラスの仲間の成長、そして来年への期待等がたくさん綴られていました。

運動会は１年間の行事の中で全家庭が一同に集まり園全体の子どもたちの姿を見合う場になっています。我が子だけでなく、ひよこ組からそら組まで各クラスの様子を見ていただくことで、幼児クラスの保護者の方々は小さかった頃の我が子の姿に照らし合わせたり、懐かしく思うこともあるでしょう。また乳児の保護者の方々は今の子どもの姿と来年再来年の姿を想像しながら今後の楽しみも増えたのではないでしょうか。こんな風に色々な子どもたちの様子を生で見て肌で感じていただき、一人ひとりの成長を喜び合うことが運動会を全体で行う一つのねらいでもあります。



乳児クラスではいつもと違う雰囲気から泣けてしまう子もいました。緊張で表情がこわばる子もいました。でも友だちが遊んでいる様子を見ながら自然と遊びに引き込まれていったり、自分の出番になると息を整えながら自分のペースで一歩一歩進んでいく姿も印象的でした。乳児クラスの子どもたちには、この自分と向き合う「時間」「間」を大切にし、いつやるかは子どもが決めて進んでいきます。そんな時間も大切にされた運動会でした。

幼児クラスは自分の目標やなりたい自分に向かって取り組んできたことが発揮された運動会であったと思います。個々の競技の中では真剣なまなざしと仲間と一緒に頑張る姿がありましたね。一人では不安なことも仲間がいることで乗り越えていけます。そして、うみさんとそらさんはリレーの取り組みを通して、仲間の中で思いを出す経験とそれを受け止めてもらう経験をしてきました。リレーの対決をするたびに「どうしたら勝てるか」とグループの仲間と話し合っていました。今年も色々な知恵や名案が出ていました。一人ひとりが仲間の中で何を思い何を伝えたいのか…どの子もどんな意見も大切にされます。それが幼児クラスのおたよりからたくさん伝わってきました。当日は懸命に走る姿やつながるバトンに一人ひとりの思いがこもっていて感動しました。



そして、頑張った子どもたちを目一杯褒めてあげてください。子どもは今のありのままの姿を受け止めてもらえることが何よりの自信につながり、それが次へのステップになります。毎年お伝えしていますが、運動会は子どもたちにとっての通過点です。ここから子どもたちの挑戦はまだまだ続きます。今後の成長が更に楽しみですね。

運動会実行委員のみなさん、１部の道具出しから２部の競技の進行準備等たくさんのご協力をいただきありがとうございました。運動会は頑張る子どもたちと実行委員のみなさんのご協力、保護者のみなさんの温かいご声援や拍手があって成り立っています。今年もどんぐりらしく温かい運動会でした。ありがとうございました。そして、２部の競技で保護者のみなさんが全力で楽しむ姿は素敵でした。その姿は必ず子どもたちにも伝わります。だからこそ子どもたちも全力で楽しむことができます。次は運動会実行委員からしいの実祭り実行委員へバトンをつなげていきましょう。よろしくお願いいたします。